

## 調査概要と方法

1. 本報告書は、被害者支援活動研究会が、財団法人社会安全研究財団の委託によって行った「犯罪被害者支援活動に関する調査研究」—米国等の被害者支援組織ボランティア研修ガイドブック概観—の結果をまとめたものである。

2. 本研究の主な目的は、アメリカやイギリスなど、被害者支援先進国とされる国々の被害者援助組織における、ボランティア援助者の教育訓練のあり方を明らかにすることで、日本における被害者支援ボランティア教育のあり方についての検討に寄与することにある。

3. 今回、実地に視察調査したのは、下記の5施設である。

- ① ワシントンDCの首都警察被害者証人部門
- ② メリーランド州モントゴメリ郡被害者援助プログラム
- ③ アリゾナ州ピマ郡検察局被害者証人プログラム
- ④ 飲酒運転に反対する母の会 (MADD) 本部
- ⑤ イギリスのVS (Victim Support)の地方組織

調査者は、それぞれの施設において、係りの担当者にインタビューして、被害者支援活動の内容について聴取し、ピマ郡検察局VWプログラムにおいては、実際の活動に参加して実地研修を受けた

4. 本報告書に、その内容を一部でも紹介する研修用ガイドブックは、以下の8冊である。

- ① ピマ郡検察局被害者証人プログラム (VW) ボランティア研修用ガイドブック
- ② MADD被害者支援の手引き
- ③ POMC地域リーダーのトレーニング・マニュアル
- ④ エドモントン警察 被害者サービス部門ポリシー・マニュアル
- ⑤ ワシントン首都警察 被害者援助プログラム
- ⑥ 全国被害者支援アカデミー テキスト
- ⑦ NOVA 研修マニュアル
- ⑧ VS 研修マニュアル

5. 上記の8冊中、① ピマ郡検察局VWボランティア研修用ガイドブック、② MADD被害者支援の手引き、および③ POMC地域リーダー・トレーニング・マニュアルについては、それぞれのガイドブックの記載より、数項目を選び、訳出、紹介した。項目の選択に際しては、ボランティアの活動内容がよく窺えるもの、我が国での直接的支援の実際に役立つもの、我が国でのボランティア研修教材の作り方に参考となるもの、などを重視した。選択した項目については、内容によっては抄訳したところもあるが、なるべく原文に忠実に、逐語的に紹介するよう努めた。上記の④～⑧については、それぞれの組織の特徴と、マニュアルの目次、ないしは研修プログラムの項目を紹介する。